

●歩行用トラクターでトレーラーをけん引する時はジャックナイフ現象に注意

なぜ？

トラクターでトレーラーをけん引している時に、急旋回するとジャックナイフ現象が起こり、転倒することがあり危険です。

(ジャックナイフ現象: ジャックナイフを折り畳んだように、けん引車輈と被けん引車輈の間の角度が極端に折れ曲がること。走行しにくくなったり、転倒したりする危険性がある。)

ヒヤリ、事故

1. 階段畑の下側に移動する時、坂道の途中で変速しようとしたところ、急にハンドルが取られ、機体が転倒した。
2. 急な下り坂でギヤが抜け暴走し、下敷きになりそうになった。



そこで...

対策ポイント

1. 極力緩やかに旋回するように、速度を下げハンドルを操作します。
2. 走行中は操向クラッチの操作ではなくハンドル操作で旋回します。
3. 下り坂でのジャックナイフ現象を防ぐため、急ブレーキ・変速を避け、エンジnbrakeキを使用して、速度を下げたて走行します。

さらに！

追加のヒント

1. 後退時も急発進を避け、方向転換時は、歩トラとトレーラーの角度が小さくなり過ぎないように、確認しながらゆっくり操作します。
2. 乗用トラクターに、けん引式の作業機を装着して走行する際も、同様の対策をとります。